



SMILE NEWS 住まいのニュース

2017
11
vol.84

今月の特集 プロセスを楽しもう!

家づくりの打ち合わせを考える

■ 疑問は遠慮なく、イメージは具体的に納得のいくまで話してみよう

思い描く理想の住まいを話し合い、かたちある家を実現していく過程で欠かせないのが工務店や建築家との打ち合わせです。まさに注文住宅の醍醐味ともいえますが、一方で不安に感じるという方もいらっしゃるのでは。建売りやハウスメーカーの住宅に比べて準備期間が長くなるのは、納得がいくまで自由に検討できることの証。また、工夫次第でコストも十分に抑えることも可能です。

まずは資金計画と同時に、家族間で意見の集約を図りましょう。キッチンの使い勝手や家事動線、必要な収納の面積は普段最も使っている人が把握しているもの。我が家に最適なプランニングを導くには、要望をできるだけ具体的に洗い出し、優先順位をつけておくとその後の判断が早くなります。

打ち合わせを重ねて伝わるのは、決して言葉や図面だけではありません。自宅で行えば、建てる側が施主の暮らしぶりをイメージしやすいメリットが。工務店なら、手元に豊富な資料があることで具体的な検討がしやすくなります。この段階での遠慮は禁物。カタログやサンプル、雑誌やスケッチなどを使しながら、双方が同じイメージを共有するため手間を惜しまないようにしましょう。

予算が少ない場合も諦めずに。与え

られた条件を最大限に活かしながら素敵な住宅を実現しているご家族も多くいます。概算見積がオーバーしたら優先順位に立ち返り、費用にメリハリを。アイデアを求めるなら、建築家との協働も有効な手段です。

工事が着工したら、繰り返し現場にも足を運んでみましょう。窓の位置や天井の高さなど、完成前からその場に身をおくことで、新しい暮らしを思い描きやすくなりますよ。

■ 地域の信頼に根ざすのが工務店、実績と経験が生きる家づくりを

多くの工務店は地元に根ざした存在であり、地域内での評価を非常に重視し

ています。身近に施工実績があれば、見学したり建主の声を聞く機会がないか確認してみましょう。評判の良い工務店はそれに応えるべく、あなたの家も全力で取り組むはず。さらに「FPの家」なら優れた住宅性能に加え、たゆまぬ勉強を重ねた工務店による設計・施工が両立。あらゆる要望や様々な条件にも柔軟に対応できる、きめの細かい家づくりを可能にしています。

工務店では営業担当を置き代わりに工事に携わる者が直接打ち合わせに臨むこと多く、現場との距離を縮めるパイプ役も期待できます。竣工後のアフターメンテナンスの頼みやすさも地域密着のメリットです。



理想の詰まった家を建てるには、思いをしっかりと伝えることも不可欠。打ち合わせを上手に重ねるには、どんな点を押さえれば良いのでしょうか。

2017
11
vol.84

住まいの知恵袋

納戸

納戸はサービスルームとも呼ばれ、建築基準法上、「居室」の基準を満たさない部屋のこと。ここでの居室とは人が継続的に使う部屋を指し、具体的には、窓面積が床面積の1/7以上なら居室、それ以下は納戸というように、採光・換気・天井高など様々な条件によって定められています。

納戸は文字通り収納スペースとして使うこともできますが、住



み手によっては書斎や趣味室、家事室として活用されることもあります。ただし、コンセントや照明設備、エアコンなどが設置できない点に注意が必要。活用したい場合は動線や安全性・快適性を含め、プロに十分相談の上で検討しましょう。



できたり DIY

木琴

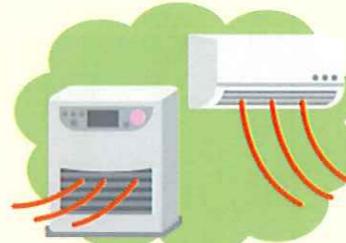
芸術の秋、次のDIYではお子さんが喜ぶ楽器作りに挑戦してみては。木琴のバチは市販の木球に軸を組み合わせ、音板は試しに叩きながらドレミの音階に合わせて長さを調節。音が高いほど木は短くなります。手元に楽器があると理想的ですが、なければスマートの楽器アプリでも。音板を切り過ぎた場合は裏に厚紙などを貼ると音が低くなりますよ。



お力ネの豆知識

暖房費の節約

冬が近づくと気がかりなのが暖房費の節約。エアコンは製造年で消費電力が大きく異なり、最新機種との比較検討を。即暖性の高い石油ファンヒーターとの併用も選択肢です。せっかく暖めた空気は逃さないことが大切。断熱性能が高いほど節約できると同時に、夏には冷房コストも抑えられますよ。



暮らしの1POINT



寒さに強い花

まもなく庭も冬仕舞。彩りが減って寂しい方は、寒さに強い花を育ててみては。鉢のほか、地域によっては露地でも楽しめます。

代表的な花はビオラやパンジーで、プリムラも種類豊富でおすすめ。これらの花は十分日光に当てるこも大切です。冬の日差しをできるだけ取り込み、元気に育てましょう。



教えて! Dr.住まいの



鏡のお手入れ

湿気の多い浴室の鏡は白く曇る水垢が悩みの種。これは水に含まれるミネラルで、固まる前に落とし、入浴毎に水滴を取り除いて換気するのが予防策です。落ちにくい場合は酢やクエン酸で拭き取りましょう。黒いシミは補修が困難な腐食で、強力な洗剤が原因となる場合も。中性洗剤でのお手入れが無難です。